

協働の原則(協働の基本姿勢)の変遷

当初		第9回委員会		第10回委員会	
項目	キーワード	項目	内容	項目	内容
①地域愛を醸成する	・地域愛 ・郷土愛 ・地域再生 ・活動する意欲 ・住んでよかった ・主体性 ・愛着 ・誇り ・安全安心	①地域愛や地域への誇りを主体的な活動につなげる	地域愛や地域への誇りを育み、協働への意欲を高めるとともに、生活からみえてくることから地域やまちづくりへの主体的な活動につなげていくことが大切です。	①地域に対する想いを持つ姿勢 ～そこに地域愛はありますか？～	計画書(素案)のとおり
③責任をもつ	・責任 ・認識 ・住民自治のあり方 ・「市民が行うことは市民で」 ・地域コミュニティの醸成	③それぞれが役割を持ち、補完し合う	市民、市民団体、行政、事業者がそれぞれのできることをやるべきこと、役割を認識し、ともに取り組みを進めることが大切です。	②自ら行動する姿勢 ～自分にできることを考えていますか？～	計画書(素案)のとおり
②対等な関係をつくる	・対等な立場 ・お互いを理解 ・信頼 ・仕組みづくり ・自主性 ・主体性	②お互いの理解を深め、顔の見える関係をつくる	お互いさまという気持ちを大事に、市民、市民団体、行政、事業者が理解し合い、顔の見える関係を築くことが大切です。	③お互いに理解し合う姿勢 ～お互いの強みも弱みも理解していますか？～	計画書(素案)のとおり
④お互いを理解する	・お互い様 ・顔がみえる ・三方よし ・住民同士、団体同士が互いに協働 ・違いを認める ・お互いを認める ・お互いを知る ・ふれあい	※②に統合		※③に統合	
⑤目的を共有する	・十分な理解 ・目標、目的、共通認識 ・補い合いながら実践 ・よきパートナー ・協力する過程 ・目指している方向 ・夢、ビジョン	④目的、プロセス及び成果を共有する	市民、市民団体、行政、事業者が夢をはじめ、目的、解決すべき課題、情報、さらには成果を共有し、よきパートナーとして協力し合うことが大切です。	④共有する姿勢 ～目的や目標などの方向性は同じですか？～	計画書(素案)のとおり
⑨多様性を活かす	・自分を活かす ・声かけ ・団塊の世代 ・助け合う ・持てる力や能力をお互いに活かす ・互いに事業を補充しあう ・多様性 ・ネットワーク ・新たな発想	⑤それぞれの持てる力を結集し、新たな発想で活動を進める	市民、市民団体、行政、事業者がそれぞれできることや取り組みに気づき、それぞれの良い面や長所を活かし、助け合うとともに、つながりから生まれる新たな発想で活動を進めることが大切です。	⑤つながり合う姿勢 ～つながり合って、新たな発想で考えますか？～	計画書(素案)のとおり
⑥住民が参画できる場をつくる	・意見を言える場 ・出会う場 ・アイデアを出す ・自助・共助 ・「やれることからやってみる」 ・共に考える ・つなぐ	※方策的な要素のため、施策として落とし込む ●基本施策2「まちづくりラウンドテーブルの実施」 ●基本施策3「コミュニティセンター等の活用」 ●基本施策3「既存資源の活用」		※方策的な要素のため、施策として落とし込む	
⑦担い手を育成する	・人材発掘 ・育成 ・活用 ・職員の資質 ・教育 ・思いやる心 ・自分の意思 ・自発的 ・徐々に拡大 ・意識づくり ・体制を整える	※方策的な要素のため、施策として落とし込む ●基本施策3「人材育成講座等の開催」		※方策的な要素のため、施策として落とし込む	
⑧連携する。つながりをつくる	・繋がり ・柱がある事業 ・仲間意識 ・住民の視点 ・誰かの役に立っている ・地域コミュニティセンター	※方策的な要素のため、施策として落とし込む ●基本施策2「情報交換や共有などを通じた交流機会づくり」 ●基本施策2「市民協働活動事例報告会の実施」 ●基本施策2「まちづくりラウンドテーブルの実施」		※方策的な要素のため、施策として落とし込む	